

平成22年第1回定例会
予算決算常任委員会県土整備企業分科会
提出資料

○ 議案補充説明

I 平成21年度最終補正予算について 1

- ・ 議案第64号「平成21年度三重県水道事業会計補正予算（第4号）」
- ・ 議案第65号「平成21年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第4号）」
- ・ 議案第66号「平成21年度三重県電気事業会計補正予算（第3号）」

II 平成22年度当初予算について 3

- ・ 議案第15号「平成22年度三重県水道事業会計予算」
- ・ 議案第16号「平成22年度三重県工業用水道事業会計予算」
- ・ 議案第17号「平成22年度三重県電気事業会計予算」

III 「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」について..... 9

- ・ 議案第33号「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」

平成22年3月11日

企 業 庁

I 平成21年度最終補正予算について

平成21年度最終補正予算案作成に当たり、決算を念頭において調整を行った結果、水道、工業用水道及び電気事業の概要は次のとおりです。

平成21年度最終補正予算事業別内訳

(単位:千円)

議案番号及び事業名		収益的収入 (A)	収益的支出 (B)	収益的収支 (A)-(B)	純利益 (税抜き)	資本的収入 (C)	資本的支出 (D)	資本的収支 (C)-(D)
議案第64号関係								
水道	既決予算	12,628,812	10,859,222	1,769,590	1,600,435	5,529,234	11,006,545	△5,477,311
	最終補正	△33,840	△103,065	69,225	100,727	△2,367,846	△1,130,819	△1,237,027
	計	12,594,972	10,756,157	1,838,815	1,701,162	3,161,388	9,875,726	△6,714,338
議案第65号関係								
工業	既決予算	6,614,791	6,229,984	384,807	259,211	3,004,535	5,318,220	△2,313,685
	最終補正	△112,902	△183,496	70,594	83,706	△939,400	△364,410	△574,990
	計	6,501,889	6,046,488	455,401	342,917	2,065,135	4,953,810	△2,888,675
議案第66号関係								
電気	既決予算	3,133,395	3,624,529	△491,134	△496,133	56,647	665,543	△608,896
	最終補正	△58,731	△133,183	74,452	76,400	65	△45,583	45,648
	計	3,074,664	3,491,346	△416,682	△419,733	56,712	619,960	△563,248
水力	既決予算	2,275,682	2,313,627	△37,945	△49,392	56,647	658,794	△602,147
	最終補正	△2,210	△114,924	112,714	121,047	65	△45,583	45,648
	計	2,273,472	2,198,703	74,769	71,655	56,712	613,211	△556,499
RDF	既決予算	857,713	1,310,902	△453,189	△446,741	—	6,749	△6,749
	最終補正	△56,521	△18,259	△38,262	△44,647	—	—	—
	計	801,192	1,292,643	△491,451	△491,388	—	6,749	△6,749
合計	既決予算	22,376,998	20,713,735	1,663,263	1,363,513	8,590,416	16,990,308	△8,399,892
	最終補正	△205,473	△419,744	214,271	260,833	△3,307,181	△1,540,812	△1,766,369
	計	22,171,525	20,293,991	1,877,534	1,624,346	5,283,235	15,449,496	△10,166,261

平成21年度最終補正予算と20年度決算額との比較

(単位：千円)

事業	年度	収益的収入 (A)	収益的支出 (B)	収益的収支 (A) - (B)	純利益 (税抜き)	資本的収入 (C)	資本的支出 (D)	資本的収支 (C) - (D)
水道	20決算	11,665,522	9,715,958	1,949,564	1,581,105	20,556,530	25,094,424	△4,537,894
	21最終	12,594,972	10,756,157	1,838,815	1,701,162	3,161,388	9,875,726	△6,714,338
	増減	929,450	1,040,199	△110,749	120,057	△17,395,142	△15,218,698	△2,176,444
工業用水道	20決算	6,712,333	5,691,694	1,020,639	906,129	2,249,673	4,576,558	△2,326,885
	21最終	6,501,889	6,046,488	455,401	342,917	2,065,135	4,953,810	△2,888,675
	増減	△210,444	354,794	△565,238	△563,212	△184,538	377,252	△561,790
電気	20決算	3,263,571	3,321,368	△57,797	△60,964	70,680	667,632	△596,952
	21最終	3,074,664	3,491,346	△416,682	△419,733	56,712	619,960	△563,248
	増減	△188,907	169,978	△358,885	△358,769	△13,968	△47,672	33,704
水力	20決算	2,473,526	2,278,301	195,225	192,972	70,680	661,014	△590,334
	21最終	2,273,472	2,198,703	74,769	71,655	56,712	613,211	△556,499
	増減	△200,054	△79,598	△120,456	△121,317	△13,968	△47,803	33,835
R D F	20決算	790,045	1,043,067	△253,022	△253,936	-	6,618	△6,618
	21最終	801,192	1,292,643	△491,451	△491,388	-	6,749	△6,749
	増減	11,147	249,576	△238,429	△237,452	-	131	△131
合計	20決算	21,641,426	18,729,020	2,912,406	2,426,270	22,876,883	30,338,614	△7,461,731
	21最終	22,171,525	20,293,991	1,877,534	1,624,346	5,283,235	15,449,496	△10,166,261
	増減	530,099	1,564,971	△1,034,872	△801,924	△17,593,648	△14,889,118	△2,704,530

1 水道事業

収益的収入において、伊賀水道用水供給事業の給水開始などに伴う給水収益の増加により前年度に比べ収益が増加します。また、収益的支出において、伊賀水道用水供給事業の給水開始などに伴う維持管理費用の増加により前年度に比べ費用が増加します。収益的収支は減少していますが、消費税を除く純利益では、前年度決算額より1億2,005万7千円増の17億116万2千円となる見込みです。

2 工業用水道事業

収益的収入において、北伊勢工業用水道の料金改定に伴う給水収益の減少により前年度に比べ収益が減少します。一方、収益的支出において、南伊勢工業用水道事業廃止にかかる特別損失の増により前年度に比べ費用が増加します。収入が減少するとともに、費用が増加することから、純利益は、前年度決算額より5億6,321万2千円減の3億4,291万7千円となる見込みです。

3 電気事業

水力発電事業については、収益的収入において、料金改定及び供給電力量の減などに伴い電力料収入が前年度に比べ減少します。また、収益的支出において、修繕費などの減により前年度に比べ費用が減少します。費用の減少に比べ収入の減少が大きいことから、純利益は、前年度決算額より1億2,131万7千円減の7,165万5千円となる見込みです。

RDF焼却・発電事業については、収益的収入において、RDF処理料金の増加により前年度に比べ収益が増加します。また、収益的支出において、三重ごみ固形燃料発電所の管理運營業務委託料の年割額の増加により前年度に比べ費用が増加します。収入の増加に比べ費用の増加が大きいことから、純損失は、前年度決算額より2億3,745万2千円増の4億9,138万8千円となる見込みです。

Ⅱ 平成22年度当初予算について

1 水道事業会計【議案第15号関係】

(1) 予算額

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成21年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	10,604,027	12,716,581	△2,112,554	
営業収益	10,370,809	12,333,892	△1,963,083	料金改定及び伊賀一元化による減
営業外収益	233,218	382,689	△149,471	他会計補助金の減
収益的支出	14,912,362	11,118,624	3,793,738	
営業費用	8,188,453	9,021,217	△832,764	人員の減及び伊賀一元化による減
営業外費用	1,543,071	2,040,977	△497,906	支払利息の減
特別損失	5,178,838	54,430	5,124,408	伊賀一元化に伴う除却損
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△4,308,335	1,597,957	△5,906,292	
純利益	△4,432,056	1,397,590	△5,829,646	
資本的収入	3,001,398	6,228,379	△3,226,981	
企業債	624,000	3,422,200	△2,798,200	借換・繰上償還充当財源の皆減
補助金	178,107	423,294	△245,187	北勢広域水道拡張費の減
出資金	2,190,418	2,382,885	△192,467	北勢広域水道拡張費の減
固定資産売却代金	8,873	—	8,873	
資本的支出	8,677,490	11,690,125	△3,012,635	
建設改良費	2,680,592	4,128,152	△1,447,560	業務設備改良費及び北勢広域水道拡張費の減
償還金	5,996,898	7,561,973	△1,565,075	借換・繰上償還の減
資本的収支差	△5,676,092	△5,461,746	△214,346	

(2) 主要事業の主な内容

①計画的な施設改良の推進

予算額 1,980,813千円

将来にわたり水道用水の「安全・安心・安定」供給を実現するためには、管路や浄水場などの施設を効率的に整備し適切に維持更新していくことが不可欠です。

このため、「三重県企業庁施設改良計画（平成19年度～平成28年度）」に基づき、耐震化対策や老朽劣化対策等を計画的に推進していきます。

(耐震化対策)

91,962千円

- ・水管橋耐震補強工事等（内部川他） 87,678千円
- ・蛸塚調圧水槽耐震補強工事 4,284千円

※蛸塚調圧水槽耐震補強工事の工業用水道事業会計分を含めた予算額は42,714千円

(老朽劣化対策)

1,495,388千円

- ・多気浄水場薬品注入設備機器取替工事 409,500千円
- ・高野浄水場5号、6号送水ポンプ取替工事 208,387千円 他

(その他)

393,463千円

- ・播磨浄水場小水力発電設備工事 113,190千円
- ・水質検査機器の更新 31,763千円 他

②拡張事業等の推進

予算額 545,189千円

現在実施している北勢広域水道拡張事業について、平成23年4月からの全部給水開始に向けて計画的・効率的に事業を推進します。

(北勢広域水道拡張事業)	545,189 千円
・田光送水ポンプ所計装設備設置工事	105,000 千円
・潤田送水ポンプ所ポンプ設備等設置工事	84,000 千円 他

③「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善

予算額 123,269 千円

長期経営ビジョンに基づき、水道事業の1市供給地域における市水道事業への一元化、技術管理業務の包括的な民間委託を着実に推進していきます。

(市水道事業への一元化：伊賀市)

伊賀水道用水供給事業にかかる資産を伊賀市へ無償で譲渡することについては、地方公営企業法第33条第2項の規定に基づき、重要な資産の処分として予算に計上しています。

参考 議案第15号 抜粋

(重要な資産の処分)

第12条 重要な資産の処分は次のとおりとする。

種 類	名 称	数 量	処分の態様
処分する資産	土地 伊賀水道ゆめが丘浄水場用地外 (伊賀市ゆめが丘外)	87,575.12 m ²	譲 与
	建 物 伊賀水道ゆめが丘浄水場管理本館外 (伊賀市ゆめが丘外)	7,333.61 m ²	//
	構築物 伊賀水道に係る取水、導水、浄水 及び送水施設外 (伊賀市ゆめが丘外)	1 式	//
	その他 上記のほか、伊賀水道に係る事業用資産 の設備	1 式	//

(市水道事業への一元化：志摩市)

65,950 千円

志摩市への一元化に向けて、市と十分な協議を行いOJT等による実践的な研修や施設整備等を進めます。

- ・志摩分水配管布設工事 34,776 千円 他

(その他：技術管理業務の包括的な民間委託)

57,319 千円

- ・技術管理業務の包括的な民間委託に係る水道事業負担分

57,319 千円

④環境・地域への貢献

予算額 113,190 千円

地域社会の一員として「企業の社会的責任 (CSR)」を果たすため、地球温暖化対策などの環境に配慮した事業活動や地域貢献活動に積極的に取り組みます。

このため、平成21年度に引き続き、小水力発電設備の整備を進めます。

- ・播磨浄水場小水力発電設備工事 113,190 千円 (再掲)

※上記工事の金額は①計画的な施設改良の推進 (1,980,813 千円) にも含まれています。

2 工業用水道事業会計【議案第16号関係】

(1) 予算額

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成21年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	6,401,713	6,768,906	△367,193	
営業収益	6,314,948	6,655,164	△340,216	料金改定に伴う給水収益の減
営業外収益	55,953	113,742	△57,789	受取利息の減
特別利益	30,812	—	30,812	施設撤去に伴う補償費の皆増
収益的支出	5,900,864	6,326,124	△425,260	
営業費用	5,153,588	5,169,209	△15,621	減価償却費の減
営業外費用	662,268	742,483	△80,215	支払利息の減
特別損失	83,008	412,432	△329,424	南伊勢工水事業廃止に伴う除却損の減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	500,849	442,782	58,067	
純利益	356,020	303,482	52,538	
資本的収入	2,858,647	2,963,654	△105,007	
企業債	1,247,000	1,312,500	△65,500	建設改良費に充当する起債の皆減
補助金	263,700	114,500	149,200	国庫補助金の増
出資金	1,316,078	1,346,177	△30,099	長良川河口堰水源費の減
負担金	31,500	89,174	△57,674	工事負担金の減
固定資産売却代金	369	—	369	用地売却代金の皆増
雑収入	—	101,303	△101,303	工水施設使用に伴う負担金の皆減
資本的支出	7,070,254	5,729,586	1,340,668	
建設改良費	3,413,058	2,662,814	750,244	北伊勢工水改良費の増
償還金	3,657,196	3,066,772	590,424	水資源機構割賦負担金繰上償還に係る増
資本的収支差額	△4,211,607	△2,765,932	△1,445,675	

(2) 主要事業の主な内容

①計画的な施設改良の推進

予算額 2,917,118千円

将来にわたり工業用水の「安全・安心・安定」供給を実現するためには、管路や浄水場などの施設を効率的に整備し適切に維持更新していくことが不可欠です。

このため、「三重県企業庁施設改良計画（平成19年度～平成28年度）」に基づき、耐震化対策や老朽劣化対策等を計画的に推進していきます。

(耐震化対策) 1,098,371千円

- ・水管橋耐震補強工事等(内部川他) 500,171千円
- ・千本松原取水所改良工事(二期) 274,557千円 他

(老朽劣化対策) 1,417,137千円

- ・内径1000 耗PC管布設替工事(二期・東日野) 510,756千円
- ・長太加圧ポンプ所電気設備取替工事(四期) 165,000千円 他

(その他) 401,610千円

- ・配水管布設工事(二期・力尾) 315,000千円
- ・配水管路設計業務委託(二期・力尾) 21,000千円 他

②**拡張事業等の推進** 予算額 28,954 千円
ユーザー企業からの増量申込等に対し的確に対応していきます。

(工業用水の需要増に対応した施設整備) 28,954 千円
・量水装置設置工事 26,224 千円 他

③**「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善** 予算額 170,047 千円
長期経営ビジョンに基づき、技術管理業務の包括的な民間委託を着実に推進していきます。

(技術管理業務の包括的な民間委託) 170,047 千円
北勢水道事務所管内の浄水場等において導入した技術管理業務の包括的な民間委託について、受託者と緊密な連携のもと適切に指導・監督を行い、安全・安心・安定供給の継続に努めるとともに、今後更なる委託範囲の拡大に向け現状の委託の検証を進めます。

・統括運転管理及び浄水場等管理業務委託 170,047 千円

※水道事業会計負担分を含めた予算額は 227,366 千円

3 電気事業会計【議案第17号関係】

(1) 予算額

(単位:千円)

項目	平成22年度	平成21年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	3,222,497	3,304,149	△81,652	
営業収益	2,320,301	2,422,666	△102,365	基本料金改定による減
附帯事業収益	884,209	857,713	26,496	処理委託料の増
営業外収益	17,987	23,770	△5,783	受取利息の減
収益的支出	3,716,007	3,747,063	△31,056	
営業費用	2,267,301	2,147,540	119,761	修繕費の増
附帯事業費用	1,142,637	1,332,105	△189,468	管理運営委託料の減
営業外費用	245,176	265,418	△20,242	支払利息の減
特別損失	58,893	—	58,893	川上発電所撤退に伴う除却損
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△493,510	△442,914	△50,596	
純利益	△495,658	△447,827	△47,831	
資本的収入	209,325	56,647	152,678	
長期貸付金償還金	46,798	56,647	△9,849	
雑収入	162,527	—	162,527	川上発電所撤退に伴う精算金
資本的支出	604,030	663,726	△59,696	
建設改良費	50,184	108,227	△58,043	宮川第三発電所改良費の減
償還金	553,846	555,499	△1,653	
資本的収支差額	△394,705	△607,079	212,374	

【参考】

(水力発電事業)

項目	平成22年度	平成21年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	2,338,038	2,446,436	△108,398	
営業収益	2,320,301	2,422,666	△102,365	基本料金改定による減
営業外収益	17,737	23,770	△6,033	受取利息の減
収益的支出	2,572,834	2,414,289	158,545	
営業費用	2,267,301	2,147,540	119,761	修繕費の増
営業外費用	244,640	264,749	△20,109	支払利息の減
特別損失	58,893	—	58,893	川上発電所撤退に伴う除却損
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△234,796	32,147	△266,943	
純利益	△234,020	20,275	△254,295	
資本的収入	209,325	56,647	152,678	
長期貸付金償還金	46,798	56,647	△9,849	
雑収入	162,527	—	162,527	川上発電所撤退に伴う精算金
資本的支出	596,942	656,977	△60,035	
建設改良費	49,979	108,227	△58,248	宮川第三発電所改良費の減
償還金	546,963	548,750	△1,787	
資本的収支差額	△387,617	△600,330	212,713	

(RDF焼却・発電事業)

項目	平成22年度	平成21年度	増減	備考(主な増減内容)
収益的収入	884,459	857,713	26,746	
附帯事業収益	884,209	857,713	26,496	処理委託料の増
営業外収益	250	—	250	
収益的支出	1,143,173	1,332,774	△189,601	
附帯事業費用	1,142,637	1,332,105	△189,468	管理運営委託料の減
営業外費用	536	669	△133	
収益的収支差	△258,714	△475,061	216,347	
純利益	△261,638	△468,102	206,464	
資本的収入	—	—	—	
資本的支出	7,088	6,749	339	
建設改良費	205	—	205	備品購入
償還金	6,883	6,749	134	
資本的収支差額	△7,088	△6,749	△339	

(2) 主要事業の主な内容

①計画的な施設改良の推進

予算額 17,539 千円

将来にわたり電気の「安全・安心・安定」供給を実現するためには、発電所などの施設を効率的に整備し適切に維持更新していくことが不可欠です。

このため、「三重県企業庁施設改良計画」に基づき、耐震化対策や老朽劣化対策等を計画的に推進していきます。

(耐震化対策) 4,106 千円

・大和谷発電所他橋梁耐震補強工事 4,106 千円

(老朽劣化対策) 11,515 千円

・宮川第二発電所制御用整流器取替工事 6,405 千円 他

(その他) 1,918 千円

・宮川第三発電所発電機用積算電力量計取替工事 1,918 千円

②「企業庁のあり方に関する基本的方向」の具体化による経営改善

予算額 275,826 千円

長期経営ビジョンに基づき、水力発電事業の民間譲渡を着実に推進していきます。

(水力発電事業の民間譲渡) 275,826 千円

水力発電事業の民間譲渡後も譲渡先において継続して安定的に発電ができるよう、譲渡交渉先と協議を行いながら必要な修繕や改良を行うとともに、譲渡を円滑に行うため、発電所関係用地に係る測量等を引き続き進めます。

・施設整備関係（修繕・改良等） 125,784 千円

・用地測量調査委託 117,737 千円

・PCB（PCB含有主要変圧器取替設計委託） 20,000 千円 他

③環境・地域への貢献

予算額 30,000 千円

地域社会の一員として「企業の社会的責任（CSR）」を果たすため、地球温暖化対策などの環境に配慮した事業活動や地域貢献活動に積極的に取り組みます。

このため、平成22年度も引き続き環境森林部が実施している水源涵養林整備の取組に参画するなど、森林の保全・再生等に取り組みます。

・水源涵養林整備事業 30,000 千円

Ⅲ 「三重県水道供給条例の一部を改正する条例案」について

【議案第33号関係】

1 改正理由

水道事業の円滑な維持運営を図るため基本料金等の料率を改定するとともに、伊賀水道用水供給事業を伊賀市水道事業へ一元化することに伴い規定を整備する必要がありますことから、三重県水道供給条例の一部を改正します。

改正内容は下表のとおりです。

(単位:基本料金は円/m³・月、使用料金及び超過料金は円/m³)

施設名		料金	現行	改定	備考	
北中勢水道	北勢系	木曽川水系	基本	680	670	平成23年度の全部供用開始時に料金改定
			使用	39	39	
			超過	180	180	
		三重水系	基本	3,300	2,930	
			使用	65	39	
			超過	180	180	
	中勢系	長良川水系 (亀山市の区域 以外の区域)	基本	1,400	現行料金 のとおり	
			使用	39		
			超過	180		
		長良川水系 (亀山市の区 域)	基本	3,130		
			使用	39		
			超過	180		
	南勢志摩水道	雲出川水系	基本	470	(基本)	
			使用	39	1,000	
超過			180	(使用)		
長良川水系		基本	2,030	39		
		使用	39	(超過)		
		超過	180	180		
伊賀水道	基本	1,290	1,070			
	使用	39	39			
	超過	180	180			
伊賀水道	超過	1,600	削除			
	使用	65				
	超過	180				

2 改定時期

平成22年4月1日から施行する。

【参考】

1 改正による負担軽減額

今回の料金改定により、受水市町全体で年間約11億2千4百万円(△11.4%)の負担軽減になると見込んでいます。

2 料金の算定期間

平成22年度から平成26年度までの5年間